

令和5年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「モツェディ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和6年12月6日

令和6年12月4日、令和5年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「モツェディ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」の引渡式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、ムジラ学校長及び来賓その他関係者の出席の下、同中学校敷地内にて行われました。

本計画は、首都ハボローネ市のレドゥマン地区に位置するモツェディ・コミュニティ中学校において、特別支援教室（約280平米、20人収容の教室、障害者用トイレ、調理実習室等）の建設を支援するもので、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業等を行う場を提供し、インクルーシブ教育の質の向上に寄与することを目的としています。

引渡式において、大森大使は、教育は変化をもたらす強力な手段となり得ると強調し、本施設は教育における機会、成長、そして包摂の象徴であると述べました。また、特別支援教育棟の建設実現に携わったすべての人々に感謝の意を表すとともに、機会を最大限に活用するよう生徒たちを激励しました。



大森大使によるスピーチ



レセホ校長による謝辞



代表生徒による謝辞



特別支援学級棟の公式オープン